

内閣府規制改革推進会議ワーキンググループ資料

軽井沢町の交通事情と課題について

2023/11/13

軽井沢町

1. 軽井沢町の概要

- ◆ 長野県の東端、群馬県境に位置する標高1,000メートル前後の高原の町。
- ◆ 人口約2.1万人。年間840万人が訪れる観光立町。
- ◆ 明治21年に初めて別荘が建てられて以来、国際的**保健休養地**として、全国有数のリゾート地。
- ◆ 町のすぐれた自然を保持するための厳しい規制を定めた軽井沢町独自のルール『自然保護対策要綱』などを制定。



- 位置：首都圏から新幹線で約1時間
車で約1時間40分
- 人口：21,585人
世帯数：10,867世帯
※令和5年11月1日現在
- 別荘件数：16,059戸
- 面積：156.03km²
 - ・ 宅地：15%、田畑：4%
 - ・ 山林：55%、その他：26%

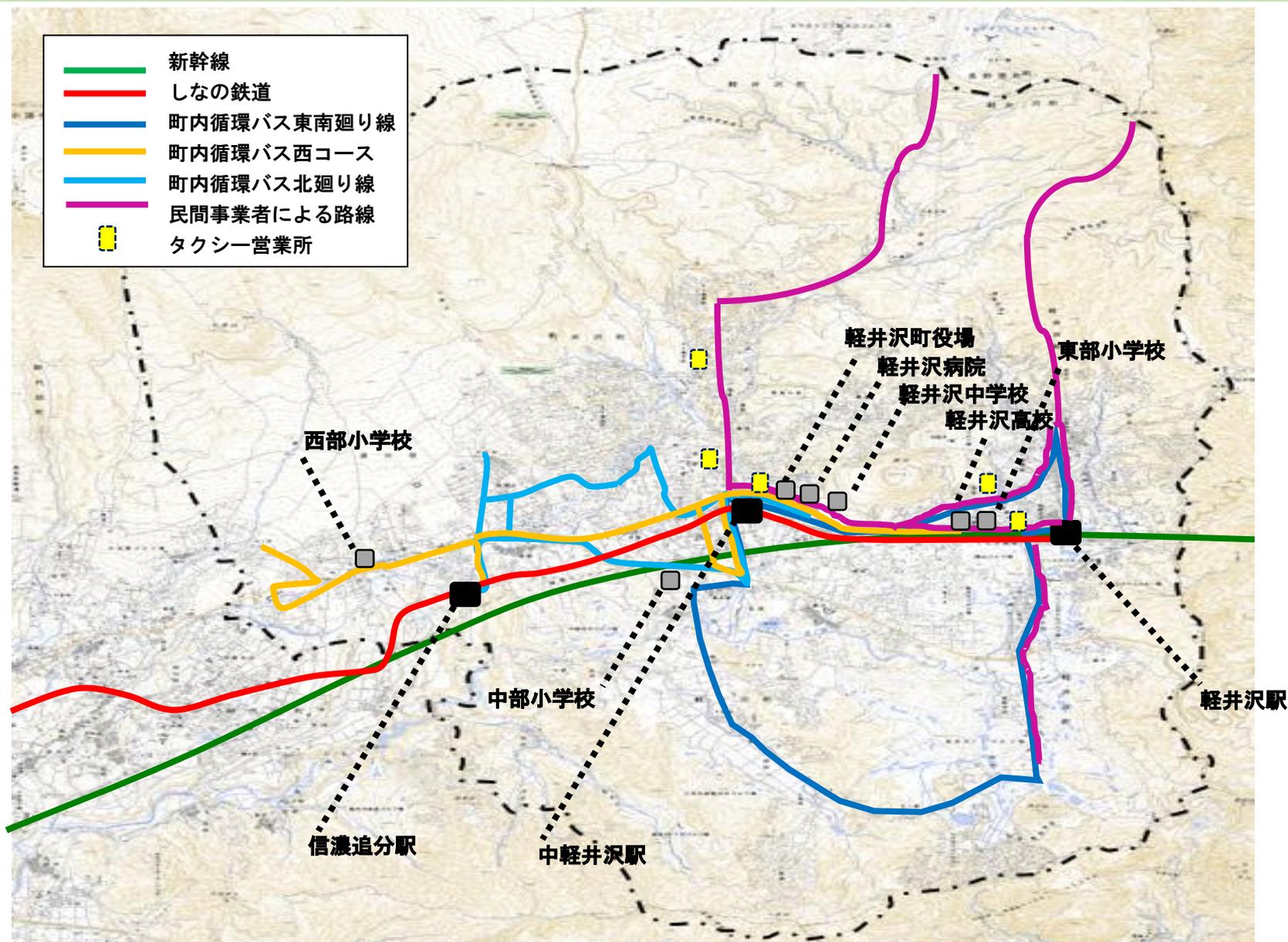
2 - 1. 軽井沢町の交通事情

◆ 町の交通状況

- ・ 北陸新幹線や地域住民の通学・通勤の足として重要な役割を担うしなの鉄道
- ・ 3路線ある町内循環バスや民間事業者が運行する路線バス
- ・ タクシー事業者が5社営業している他、デマンド交通の実証事業で連携

交通手段	運営主体
鉄道	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東日本旅客鉄道株式会社（軽井沢駅） ・ しなの鉄道株式会社（軽井沢駅・中軽井沢駅・信濃追分駅）
路線バス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内循環バス（3路線） ・ 西武観光バス株式会社（軽井沢駅～旧軽井沢～星野～万座～草津） ・ 草軽交通株式会社（軽井沢駅～旧軽井沢～白糸の滝～草津） ・ 軽井沢交通バス（東急ハーヴェスト～旧軽銀座～見晴台）
タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 松葉タクシー有限公司（48台） ・ 株式会社ますや交通（26台） ・ 有限会社軽井沢観光（28台） ・ 第一交通株式会社（30台） ・ 浅間観光株式会社（8台） <p>※台数は令和4年度燃料価格高騰対策公共交通事業者支援給付金申請台数（合計140台）</p>
デマンド交通	<ul style="list-style-type: none"> ・ よぶのる軽井沢 <p>※軽井沢町・東日本旅客鉄道株式会社・株式会社西武ホールディングス</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊施設による送迎車両

2-2. 軽井沢町の交通事情（路線図）



3 - 1. 軽井沢町の人口等の状況

◆ 町の人口状況

- ・ 東京まで最短で1時間程度の立地、在宅勤務やテレワークなどの働き方の変化、子育て環境の充実を求め、軽井沢町を選択する人が増える。
- ・ 令和2年はコロナ禍により、大幅な増加に転じ、今なお増加傾向。

表1 <人口推移>

	世帯数 (世帯)	総人口 (人)
平成17年	6,752	17,144
平成22年	8,082	19,018
平成27年	8,247	18,994
平成28年	8,401	19,108
平成29年	8,479	19,093
平成30年	8,690	19,193
令和元年	8,810	19,234
令和2年	8,941	19,578
令和3年	9,082	19,783
令和4年	8,966	19,684
令和5年	9,138	19,809

表2 <人口動態>

単位：人

	自然動態			社会動態			合計
	出生	死亡	増減	転入	転出	増減	増減
平成25年	142	219	▲77	1,746	1,432	314	237
平成26年	124	222	▲98	1,314	1,119	195	97
平成27年	136	185	▲49	1,397	1,202	195	146
平成28年	129	214	▲85	1,304	1,100	204	119
平成29年	139	197	▲58	1,321	1,274	47	▲11
平成30年	122	208	▲86	1,513	1,319	194	108
令和元年	94	197	▲103	1,408	1,259	149	46
令和2年	117	210	▲93	1,787	1,187	600	507
令和3年	109	250	▲141	1,536	1,237	299	158
令和4年	85	284	▲199	1,834	1,344	490	291

(出典) 国勢調査及び長野県毎月人口異動調査。(表1：10月1日現在、表2：1月1日現在)

3 - 2. 軽井沢町の人口等の状況

◆ 町の観光客数の推移

- ・ 観光客数は平成30年の870万人をピークに、令和2年は約半減の480万人まで落ち込むが、国内外の観光客問わず回復傾向となる。

表3 <観光客数の状況>

単位：千人

	総数	春 (3.4.5月)	夏 (6.7.8月)	秋 (9.10.11月)	冬 (12.1.2月)
平成25年	7,938	1,038	4,168	1,990	742
平成26年	8,370	1,035	4,432	2,074	829
平成27年	8,431	1,113	4,325	2,098	895
平成28年	8,465	1,090	4,452	2,004	919
平成29年	8,547	1,104	4,455	2,048	940
平成30年	8,717	1,197	4,402	2,105	1,013
令和元年	8,416	1,255	4,127	2,023	1,011
令和2年	4,852	270	2,180	1,777	625
令和3年	5,635	724	2,341	1,709	861
令和4年	7,320	987	3,168	2,052	1,113

出典：軽井沢町統計資料引用。

4 - 1. 軽井沢町の交通状況の課題

①課題認識

- ・ 軽井沢町は観光客だけでなく、別荘に静養に訪れる人たちの多くが、移動手段として自家用車を用いる一方で「**移動難民**」の増加。
- ・ 観光客数が季節や曜日において変動が大きいことに伴って、町民だけでなく、別荘所有者や観光客の回遊性が低下。
- ・ 高齢者等（運転免許証自主返納者含む）に対する移動手段の確保。
- ・ 通学や部活動の地域移行に伴う家庭等における負担の増加。

②移動難民となるケース

(1) 渋滞による公共交通機関の遅延

- ・ 繁忙期は町内循環バスの運行時間が最大 1 時間程度の遅延。

(2) 慢性的にタクシーがつかまりにくい状況の発生

- ・ 夜の時間帯においては、観光客だけでなく、別荘に訪れる人達も飲食店で夕飯を済ませることから、タクシー需要の増加。
- ・ 同時時間帯に新幹線での来訪者も多く、移動手段としてタクシーしか選択肢がない状況から、タクシー需要が重なる。
- ・ 日中の時間帯に比べ、タクシー運転手の数が不足。需要が供給を上回る。
（タクシー運転手不足も一因）
- ・ (1)による回遊性低下による配車困難

4 - 2. 軽井沢町の交通状況の課題

③課題解決に向けた取り組み

(1) 渋滞対策

- ・パークアンドレールライドの推進
- ・FM軽井沢との連携 など

(2) タクシー不足解消（タクシー事業者による取り組み）

- ・幅広い募集活動
- ・2種免許取得補助
- ※新たな人材確保に繋がっている一方で、引き続き募集活動を強化

(3) 高齢者等の移動手段の確保

- ・高齢者等が安心して移動できる環境整備、方策の検討



ご静聴ありがとうございました。